

【公開文書】

臨床研究「口腔潜在的悪性疾患（OPMDs）ならびに口腔がんにおける選択的オートファジー 関連分子の発現解析と病態関与メカニズムの解明」について

筑波大学附属病院歯科・口腔外科では、標題の臨床研究を実施しております。
本研究の概要は以下のとおりです。

① 研究の目的

扁平苔癬や白板症といった口腔潜在的悪性疾患（OPMDs）は、口腔がんに進展する可能性のある病変を指します。OPMDs は明らかな原因がない限り軽快しないことが多く、定期的な経過観察を行い、視診上の変化があった際に生検・切除を行なっていくことがほとんどです。そのため、経過観察が長期に及ぶことにより、通院の自己中断や終診となった後にがん化することも少なくありません。

しかし、現時点で OPMDs の発症やがん化のメカニズムは未だ解明されていません。

この研究では、当院において手術、生検を施行し OPMDs・口腔がんの診断を受けた標本を用いて解析を行い、OPMDs・口腔がん特有の因子や OPMDs のがん化に関与する因子を明らかにすることを目的としています。

② 研究対象者

2010 年 4 月から 2022 年 3 月までに当院で OPMDs・口腔がんに対し手術・生検術を受けた患者さんが対象になります。

OPMDs には以下の疾患が含まれます。

扁平苔癬/白板症/紅斑症/口腔粘膜下繊維症/先天性角化不全症/無煙タバコ角化症/梅毒性舌炎/
リバーススモッキング関連口蓋病変/慢性カンジダ症/円板状エリテマトーデス/日光性角化症

③ 研究期間：倫理審査委員会承認後～2027 年 12 月 31 日まで

④ 研究の方法

当院にて過去に生検や手術を施行し、OPMDs・口腔がんと診断された標本を用いて研究を行います。過去の研究より、口腔がん特有なタンパクや遺伝子が特定されているため、これらを参考に OPMDs 標本における発現因子の解析を行います。

また、診療記録より OPMDs・がん症例の臨床経過を抽出し、発現因子との関連を調べることでこれらの臨床的な側面を加えた評価を行います。

研究の結果については学会や論文などで発表します。なお、個人情報は一切使用しません。

⑤ 試料・情報の項目（具体的に記載すること）

試料：過去に当科で生検・手術を施行し OPMDs・口腔がんの診断となった病理組織

情報（診療記録より）：年齢、性別、飲酒歴、喫煙歴、発症部位、病理診断情報（病理診断名、上皮異形の有無）、がん化の有無、等

⑥ 試料・情報の第三者への提供について（該当する場合は記載）

なし

⑦ 試料・情報の管理について責任を有する者

内田 文彦

筑波大学医学医療系 顎口腔外科学 講師

⑧ 本研究への参加を希望されない場合

患者さんやご家族（ご遺族）が本研究への参加を希望されず、試料・情報の利用又は提供の停止を希望される場合は、下記の問い合わせ先へご連絡ください。すでに研究結果が公表されている場合など、ご希望に添えない場合もございます。

⑨ 問い合わせ連絡先

筑波大学附属病院：〒305-8576 茨城県つくば市天久保 2-1-1

所属・担当者名：歯科・口腔外科 担当 内田文彦

電話：029-853-3870（対応可能時間：平日 9～17 時）